

PAT-NO: JP401058651A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01058651 A

TITLE: HORTICULTURAL PLANT RECEIVING CONTAINER

PUBN-DATE: March 6, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KOBAYASHI, MASATO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KOBAYASHI MASATO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP62210204

APPL-DATE: August 26, 1987

INT-CL (IPC): B65D001/26, B65D085/52

US-CL-CURRENT: 47/66.1

ABSTRACT:

**PURPOSE:** To make the title container visible from outside and to transport the plant received therein without damaging the same, by molding a transparent thermoplastic thin layered plate at a shot and erecting space forming regions wherein right-angled triangular side walls are formed on both sides of said plate.

**CONSTITUTION:** This container is formed by molding a thermoplastic transparent film at a shot and, after the bottom part of a bowl part A1 is exactly received in the recessed space within a surrounded bottom wall region 1, a pair of space forming regions 2, 3 positioned on both sides of the surrounded bottom wall region 1 are erected on the rib upper surfaces 14a of the surrounded bottom wall region 1 by bending this layered regions 6, 7. By this method, the side walls 20, 30 formed on both sides of the space forming regions 2, 3 are mutually brought into contact with each other and pin-shaped engaging recessed and protruding parts 21A, 21B are respectively engaged with rectangular recessed and protruding parts 22A, 22B and to form the inner space 40 held between the side walls 20, 30 and a lower space 41 fixing the outer

periphery of the bowl part A1 is formed to the inner wall surface thereof and a spherical expanding space 42 receiving the plant main body A2 positioned on the bowl part A1 is formed to the upper position thereof and, further, opposed gap recessed parts 23A, 23B function as an air hole and a water injection hole.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭64-58651

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月6日

B 65 D 1/26  
// B 65 D 85/526902-3E  
7405-3E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 園芸用植物収納容器

⑯ 特 願 昭62-210204

⑰ 出 願 昭62(1987)8月26日

⑱ 発 明 者 小 林 正 人 東京都足立区本木東町16番5号

⑲ 出 願 人 小 林 正 人 東京都足立区本木東町16番5号

⑳ 代 理 人 弁理士 高橋 昌久

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

園芸用植物収納容器

## 2. 特許請求の範囲

1) 熱可塑性薄層板を成型して形成される園芸用植物収納容器よりなり、鉢底部と同形の凹空間を形成した円錐底壁部位の両側に、夫々前層部位を介して一方向側に突起する略直角三角形形状の一对の側壁からなる収納空間形成部位を延設するとともに、前記空間形成部位を前記薄層部位を折曲して円錐底壁部位上に起立させる事により、該空間形成部位の両側に形成した側壁同士が当接し、該側壁に挟まれる内部空間が形成されるとともに、該内部空間が、前記側壁の対峙する内型面で鉢部を固定する下部空間と、鉢部上に位置する植物本体を収納する膨出空間からなり、更に前記側壁の当接する面上に、該側壁同士に係合固定させる係合凹・凸部を設けた事を特徴とする特許請求の範囲第1項記載の園芸用植物収納容器

2) 前記係合凹・凸部の内、少なくとも一の凹・凸

部が前記空間形成部位の上端側に形成されている把手部である特許請求の範囲第1項記載の園芸用植物収納容器

3) 前記側壁の当接する面上の下部空間上方位置に互いに対面する空隙凹部を設けた事を特徴とする特許請求の範囲第1項記載の園芸用植物収納容器

4) 円錐底壁部位内の凹部空間に、井桁状のリブ状隆起部を形成した特許請求の範囲第1項記載の園芸用植物収納容器

## 3. 発明の詳細な説明

## 「産業上の利用分野」

本発明は、園芸用植物収納容器、特に鉢植え用植物を収納する容器に関する。

## 「従来の技術」

従来より、鉢植え用植物は一般に外部包装を行う事なく、裸の状態で生産者より販売業者へ又販売業者から消費者へ夫々販売されていた為に、運送又は店頭販売中に傷や汚れが付き易く、而もこ

のような鉢植え用植物は観賞用としての美観を減しむものである為に、花や葉が破損又は傷が付いた場合には商品価値を大きく低減してしまうという問題を生じていた。

この為、前記鉢植え用植物の鉢部が収納可能な仕切空間を多数設けた仕切箱を用意し、該仕切箱内に前記鉢植え用植物を収納した状態で運搬するようにした技術も提案されているが、このような構成を採っても鉢上に位置する花や葉部が露出している為に、花や葉が破損や損傷を避けられず、而も店頭に並べる場合には前記仕切箱より前記鉢植え用植物を個々に取り出して並べねばならず、尚前記欠点を解消し得ない。

かかる欠点を解消する為に、例えば特開昭55-120721号に示すように、上下に分断可能な箱体を用意し、該箱体の下箱部分に鉢部を収納するとともに、該鉢部と下箱間の空隙間隔に、ポリウレタン等の充填素材を介在させ、鉢部がガタツク事なくきっちりと収納可能に構成するとともに、上箱側を透明部材で形成し、観賞すべき花や葉が外部より

目視可能にした技術が存在する。

かかる従来技術によれば、前記鉢植え用植物を個々に前記箱体内に収納する事が出来る為に、花や葉を損傷させる事なく運搬可能であるとともに、観賞すべき花や葉が外部より目視可能である為に、そのまま店頭に並べたり又持運びしたりする事も出来、極めて有為性を有す。

「発明が解決しようとする問題点」

しかしながら前記従来技術によれば、上箱、下箱、及びポリウレタン等の充填素材に加えて前記上箱及び下箱とを接合させる為のテープ等を必要とし、部品点数、製造コスト、組立て工数のいずれも大となり、而も前記各部材がいずれも異なる材料である為のその管理と成型方法も煩雑化し、単なる鉢植え用植物を保護する包装容器であるにも拘らず、極めて高価なものについてしまい、汎用性に極めて乏しい。

本発明はかかる従来技術に鑑み、外部より目視可能にして而も内部に収納した植物が損傷する事なく運搬可能な園芸用植物収納容器を提供する事

を目的とする。

本発明の他の目的とする所は前記容器が一体成型にて極めて簡便に製造し得る園芸用植物収納容器を提供する事にある。

「問題点を解決しようとする手段」

本発明は、かかる技術的課題を達成する為に、  
①熱可塑性薄層板を成型して形成される園芸用植物収納容器である点、

②鉢部A1底部と同形の凹空間11を形成した圍繞底壁部位1の両側に、夫々薄層部位4,5を介して一方向側に突起する略直角三角形形状の一对の側壁20,30からなる収納空間形成部位2,3を延設した点、

③前記空間形成部位2,3を前記鉢周部位6,7を折曲して圍繞底壁部位1上に起立させる事により、該空間形成部位2,3の両側に形成した側壁20,30同士が当接し、該側壁20,30に挟まれる内部空間40が形成される点

④前記内部空間40が、前記側壁20,30の対峙する内壁面で鉢部A1を固定する下部空間41と、鉢部A1

上に位置する植物本体A2を収納する膨出空間42から形成される点、

⑤前記側壁20,30の当接する面上に、該側壁20,30同士に係合固定させる係合凹・凸部21A,21B,22A,22Bを設けた点、

事を必須構成要件とする園芸用植物収納容器を提案する。

この場合前記係合凹・凸部21A,21B,22A,22Bの内、少なくとも一の凹・凸部22A,22Bが前記空間形成部位2,3の上端側に形成されている把手部22として形成するのがよく、

又前記側壁20,30の当接する面上の下部空間41上方位置に互いに対面する空隙凹部23A,23Bを設ける事により空気穴としても又注水孔としても利用出来る。

「作用」

かかる技術手段によれば、水平に展開した状態においては前記圍繞底壁部位1も、又薄層部位6,7を介してその両側に延設する収納空間形成部位2,3もいずれも一方向側に突起又は凹設する構造

である為に、熱可塑性薄層板を用いて一発成型により容易に成型出来、その製造コストが極めて低廉で形成出来る。

又前記技術手段によれば、前記空間形成部位2,3を前記薄層部位6,7を折曲して圍繞底壁部位1上に起立させる事により、鉢をその内壁面側で保持固定し且つ植物を収納する内部空間40が容易に形成出来る為に、組立ても容易である。

而も前記鉢は圍繞底壁部位1とともに側壁20,30内壁面上に保持固定されている為に、運搬中に振動等が生じてもガタが生じる事なく、又前記収納容器を誤って倒した場合においても何等問題が生じる事はない。

又空間形成部位2,3の両側には直角三角形形状の側壁20,30が形成されている為に、該形成部位2,3を起立させる事により前記側壁20,30の当接部が垂直に立設してリブ状補強部の機能を果し、上方から多少の荷重が印加されても、押潰する事はなく、極めて丈夫である。

而も本技術手段によれば、前記薄層板に透明

フィルムを用いる事により内部に収納した植物を容易に外部より目視する事が出来、そのまま店頭に並べたり又消費者が室内で飾っておく事が出来、極めて有為性を有す。

前記側壁20,30の当接する面上の下部空間41上方位置に空気穴としても又排水孔としても利用出来る空隙凹部23A,23Bを設けた為に、スポイト等で該空隙凹部23A,23Bより漸次肥料水を注入する事により長期観賞が可能である。

又本技術手段は、前記内部空間40が鉢部A1を固定する下部空間41と、鉢部A1上に位置する植物本体A2を収納する膨出空間42とに分割している為に、夫々の空間を例えば鉢部A1形状に合わせて又植物の外径形状に合わせて自由に設定出来、汎用性が極めて高い。

更に本技術手段においては、前記側壁20,30の当接する面上に、該側壁20,30同士に係合固定させる係合凹・凸部21A,21B,22A,22Bを設けた為に、特に接着部材を用いなくても簡単に固定する事が出来、単に一部にシール部材を用いるだけで

前記収納状態を容易に維持する事が可能であり、組立コストの低減とともに、美観上からも好ましい容器を提供出来る。

更に本技術手段においては圍繞底壁部位1内の凹空間11に、井桁状のリブ状隆起部12を形成する事により補強的効果とともに、或る程度の水分を保持する事が出来、好ましい。

#### 「実施例」

以下、図面を参照して本発明の好適な実施例を例示的に詳しく説明する。但しこの実施例に記載されている構成部品の寸法、材質、形状、その相対配置などは特に特定の記載がない限りは、この発明の範囲をそのみに限定する趣旨ではなく、単なる説明例に過ぎない。

第1図及び第2図は本発明の実施例に係る鉢植え用植物収納容器を示し、第1図は組立てる前の展開図、第2図はその組立てた後の状態を示す正面図である。

本実施例は熱可塑性透明フィルムを用いて一発成型で形成された園芸用植物収納容器よりなり、

第1図に示す如く、方形の鉢部A1底部と同形の凹空間11を形成したリブ状圍繞底壁部位1の両側に、夫々折曲する為の薄層部位6,7を介して一方向側に突起する略直角三角形形状の一对の側壁20,30からなる収納空間形成部位2,3を延設する。

圍繞底壁部位1は、その図上前後両側14を、偏平対称台形状に形成し、その上面14a側に側壁20,30が設置可能に構成する。又圍繞底壁部位1内の凹空間11には、井桁状のリブ状隆起部12を形成し、方形リブ状に隆起させて補強的効果と、その上面14aに設置した鉢の水分保持効果をもたす。

前記一对の収納空間形成部位2,3は夫々対称形状をなし、その前後両側に略直角三角形形状のリブ状側壁20,30を隆起させるとともに、該側壁20,30に挟まれる開口空間(内部空間40)に、鉢部A1を三方向に位置する内壁面41a~cで押圧保持固定する、縦断面がL字形で横断面がコの字状の開口下部空間41と、該下部空間41の上面14a側半円形開口43を介して連接する、鉢部A1上に位置する

植物本体A2を収納する半球状膨出空間42を夫々形成する。

そして、前記側壁20,30の底面20a,30a側は、当接する閉鎖底壁部位1の上面14e側に合わせて僅かに斜めに傾斜させて形成するとともに、側壁20,30同士が当接する長辺20b,30b側は、前記膨出空間42と下部空間41に挟まれる半円形開口43と対応する位置に、夫々前記側壁20,30同士に係合固定させるピン状の係合凹・凸部21A,21Bを設けるとともに、その上方位置に内部空間40まで貫通する半円筒状空隙凹部23A,23Bを夫々形成する。又前記内部空間40の上端側は更に上方に平面状に延設する当接部31を設け、該当接部31に長方矩形状凹・凸部22A,22Bを対称に設け、把手部22として機能させる。

かかる展開成型薄層体によれば、第2図に示す如く、閉鎖底壁部位1内の凹空間11に鉢部A1底部をきっちり収納した後、閉鎖底壁部位1の両側に位置する一対の空間形成部位2,3を前記薄層部位6,7を折曲して閉鎖底壁部位1のリブ上面14a上

に起立させる事により、該空間形成部位2,3の両側に形成した側壁20,30同士が当接し、前記ピン状の係合凹・凸部21A,21Bと長方矩形状凹・凸部22A,22Bが夫々嵌合し、該側壁20,30に挟まれる内部空間40が形成されるとともに、該内部空間40の下側に、その内壁面で鉢部A1外周を固定する下部空間41が、又その上方位置に、鉢部A1上に位置する植物本体A2を収納する球形膨出空間42が夫々形成され、更に互いに対面する空隙凹部23A,23Bにより空気孔としても排水孔としても機能する貫通孔が形成される。

そしてこの状態で、把手上端部の当接面上をシール部材等で留める事により完全に固定出来る。

#### 「発明の効果」

以上記載した如く本発明によれば、外部より目視可能にして而も内部に収納した植物が損傷する事なく運搬可能な園芸用植物収納容器を提供する事が出来るとともに、前記容器が一体成型にて極めて簡便に製造し得る等の種々の著効を有す。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本発明の実施例に係る鉢植え用植物収納容器を示し、第1図は組立てる前の展開図、第2図はその組立てた後の状態を示す正面図である。

特許出願人：小林 正人

代理人： 弁理士 高橋 昌久



